

品川区水とみどりの基本計画・行動計画

第4回 改定検討委員会 次第

令和3年6月29日（火）14時～

場所：中小企業センター 3階 レクリエーションホール

1 議 事

(1) 今後のスケジュール

(2) 品川区水とみどりの基本計画・行動計画（素案）について

(3) 事務連絡

【配布資料】

資料1 品川区水とみどりの基本計画・行動計画（素案）

資料2 品川区水とみどりの基本計画・行動計画（概要）

品川区水とみどりの基本計画・行動計画（概要）

品川区水とみどりの基本計画とは、「新・水とみどりのネットワーク構想」で示された方針を受け、より具体的な数値目標を定めることにより、「水とみどりがつなぐまち」の実現を目指すものです。
 基本計画は、「都市緑地法」及び「品川区みどりの条例」に基づき、区が定める緑地の保全及び緑化の推進に関する計画です。また、行動計画は、基本計画で示した目標を実現するための施策について、具体的な内容を示すものです。

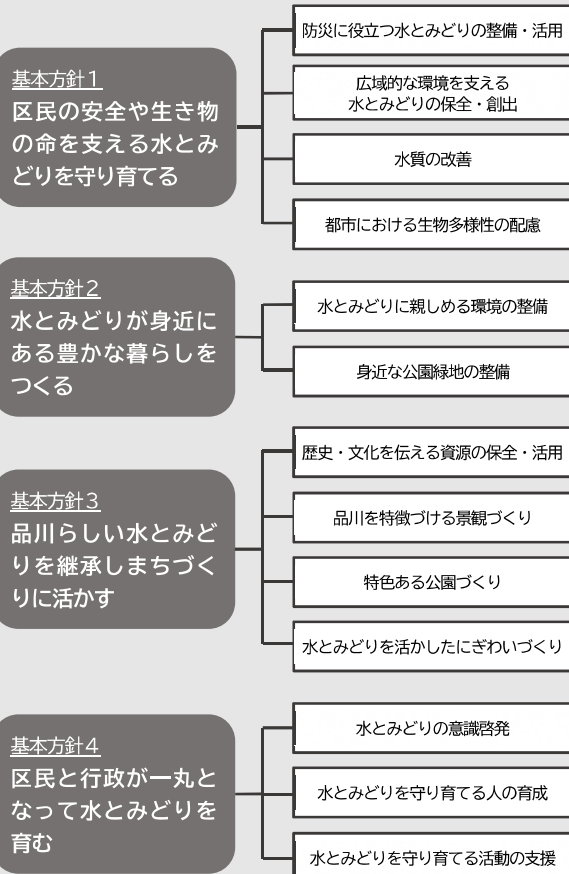
本計画における水とみどりの概念

■水 海、運河、河川、池、湧水などの水そのものと、そこに生息する生き物、景観の要素、人と関わりの中で育まれた文化的・歴史的要素を総括して「水」とし、「水」に接することのできる場所を「水辺」としています。

■みどり 市街地を構成する樹林、草地、樹木や草花などの植物そのものと、土や生き物などの自然を構成する要素、人との関わりの中で育まれた歴史的・文化的要素を総括して「みどり」としています。

品川区の水とみどりの現況

現行計画の概要



改定委員会での意見

【第1回改定委員会 (R2.9)】

- 品川区の歴史や伝統、景観などを生かした品川らしい水とみどりを保全、活用することが重要。
- 環境問題、水害、ヒートアイランド等の対策の観点も重要。
- 生物多様性、GI、SDGs等の国の施策や首都直下型地震や大型台風、コロナ等、直面している問題に対応した計画とすべき。

【第2回改定委員会 (R2.11)】

- いかに民有の樹林地や緑地の保全を行っていくかが非常に重要。
- 今まではみどりの「量」を増やすことを目標にしてきたが、例えば量が減ったとしても、区民が憩えるような身近な水辺やみどりを大事にすべき。

【第3回改定委員会 (R3.3)】

- オープンスペースの活用、公民連携が「まちづくりの中心になっている」という主張をして戴くと良い。

目標達成状況

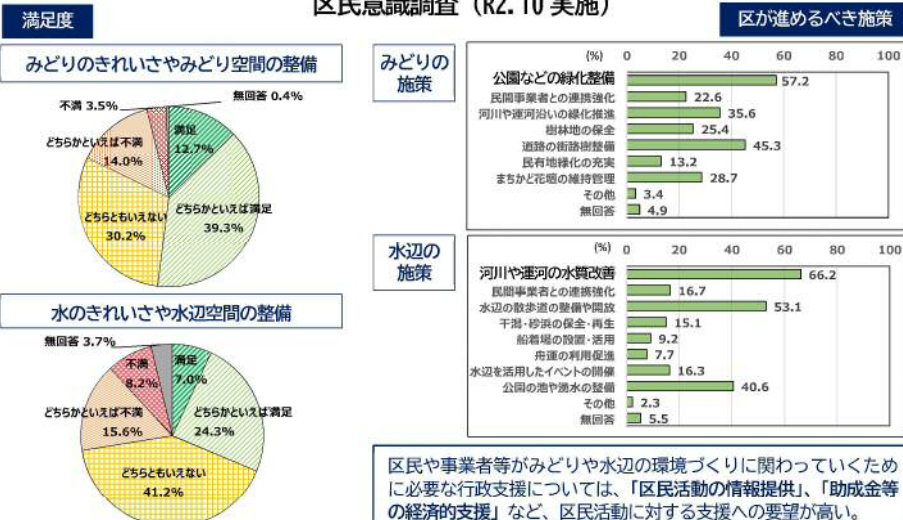
■みどりに関する目標
21.1% **【未達成】**

■水辺に関する目標
4箇所整備・開放
1箇所R3以降予定 **【ほぼ達成】**

現行計画の実施状況を踏まえた課題

- 区民の安全や生き物の命を支える水とみどりを守り育てる
 - 災害時の水運活用について、輸送ルート等の具体的な検討
 - 河川や運河における一部護岸未整備区間での継続的な緑化推進
 - 生物多様性への配慮に関して、生物多様性地域戦略の検討・策定
- 水とみどりが身近にある豊かな暮らしをつくる
 - みどりのモデル地区について、自主活動への支援やモニタリング等の工夫
 - 路地裏ガーデニングについて、継続的に展開していくための支援の工夫
- 品川らしい水とみどりを継承しまちづくりに活かす
 - 郷土の樹種を活かした公園づくりに関する樹種選定等の検討
 - 景観計画に沿った海を感じることを視座の確保（民間事業者、区）
 - 水辺、公園におけるイベントの更なる充実・推進が必要
- 区民と行政が一丸となって水とみどりを育む
 - 情報発信の充実、啓発イベントの新規顧客確保に向けた内容の更新
 - 区民ボランティアに対する具体的な支援や仕組みづくりの充実

区民意識調査 (R2.10 実施)



課題の整理と解決策の方向性

- <課題1 身近な水とみどりの創出が必要>
⇒身近な水とみどりを創出するための取り組み推進
⇒助成制度等の更なる普及啓発など、区民や事業者と連携したみどりを増やす取り組み推進
- <課題2 生物多様性に配慮した親しめるみどりや水辺の整備が必要>
⇒生物多様性に配慮した公園などのみどり空間や親しめる水辺の整備
- <課題3 防災に役立つ水とみどりの整備が必要>
・地震や都市型水害に備えた水とみどりの整備・活用
- <課題4 品川らしい水とみどりを守り活かす取り組みが必要>
・品川の歴史の中で生まれた多様な水とみどりを守り、活かすための取り組み推進
- <課題5 水辺を活かしたまちのにぎわいづくりが必要>
・地域や事業者と連携した新たなまちのにぎわいづくりのための水辺整備や活用
- <課題6 多様な主体で水とみどりを育む仕組みや活動の場が必要>
・多様な主体で水とみどりを育むための仕組みづくりや活動の場の提供

将来像：水とみどりがつなぐまち

- まちの中で水とみどりを魅力的に感じられる空間が広がっています
- 人と生き物でにぎわう水辺が復活しています

⇒水と親しむことができるみどり豊かなまちを舞台に
人々のつながりがうまれ、まちのにぎわいがうまれています



■全体目標 みどりと水辺に親しめる空間を増やし、区民満足度を向上させます	
■みどりに関する数値目標	■水辺に関する数値目標
①みどりのきれいさやみどり空間の区民満足度 80% (現状：52.0%)	①水のきれいさや水辺空間の区民満足度 50% (現状：31.3%)
②みどり率 21.7% (現状：21.1%)	②親しめる水辺が多いと感じる区民の割合 50% (現状：28.5%)
③NPO やエリアマネジメント等の地域団体による利用を促進、管理する公園数 22 箇所 (現状：10 箇所)	③区有船着場の利用回数 450 回/年 (現状：150 回/年)

■ 現行計画から新たに追加

